

2008年度(平成20年度)事業報告(案)

2008年度事業総括報告

社団法人神奈川県理学療法士会

会長 神内 擴行 (横浜リハビリテーション専門学校)

ここ数年間は毎年約250名程度の会員の増加が続いており、2008年度は約2,600名の会員数で推移してまいりました。2009年度の新人オリエンテーションでは270名を越える新理学療法士が参加し、来年には3,000名を超える組織になろうとしております。これらの新理学療法士たちの就職先を見ても急性期病院の会員増加は比較的少なく、回復期を中心とした大人数施設からクリニック(診療所)や特養・老健といった少人数施設での増加が特徴として挙げられます。さらに訪問リハや介護予防に渡る理学療法領域の拡大に伴い、本会といたしましては理学療法士が働く職場の隅々まで気を配り、これらの理学療法士の質的維持・向上と地域社会での理学療法士に対する認識度を高めることが本会の使命ではないかと考えております。この2008年度は、そういう意味では会員へのサービス向上や地域への啓発事業のための組織改革1年目という、節目の年だったといえます。

事務局関係では、本会ホームページのリニューアルが図られ、人材バンク事業の事務局移行、また事務局購入ローンの完済など、会員管理サポートの充実を図りました。

また学術局関係では、新人教育プログラム症例検討Ⅲの発表会が軌道に乗り、多くの新理学療法士の生涯学習に対する支援体制が充実したと考えております。また、本会組織の結束を高め、本会会員の人的交流を深めるために第49回日本理学療法士学会を神奈川に誘致するという提案を総会にて承認いただいたことは、本会の今後の発展のための大きな原動力になると信じています。

社会局関係では、会員のライフサポート支援の充実を図るため、従来の女性会員だけにとどまらず、会員全体のサポート体制に組織改変し、現状の問題点の把握や調査結果の報告など全国に先駆けた活動を進めてまいりました。また、会員の職場の実態調査を行い報告いたしました。将来的には神奈川県理学療法白書(仮称)の発刊に繋がることを期待しています。さらに公益的事業の見直しをこの1年間で検討し、次年度に向けた新しいアイデアを模索し、時代の流れに沿った公益事業の推進を検討してまいりました。次年度の活動に期待していただきたいと思っております。

最後に、県内在勤の理学療法士から、社団法人日本理学療法士協会賞に県立大学の長澤弘氏、神奈川県公衆衛生表彰に藤沢市民病院の齋藤幸広氏が表彰されましたことをご報告し、両氏の今後の益々のご活躍を期待して、2008年度の事業総括報告としたいと思います。

事務局

常任理事 林 克郎 (横浜リハビリテーション専門学校)
理事 大槻 かおる (大和市立病院)
理事 広瀬 好郎 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)

事務局

事務局長 山口 泰成 (森の里病院)
事務局員 石川 久子
小野田 誠子
松岡 明子

事務所概要

所在地 横浜市西区楠町4番地12
土地 1488.41㎡ 所有権の割合 12,400/673,931 所有権 敷地権割合に応じた共同所有
建物 2001年12月完成 11階建てマンションの11階部分の1階部分
占有面積 124.00㎡ 所有権 区分所有

1. 入退会、転入出等の会員異動実績
新入会 297名、転入 95名、転出 100名、県内異動 256名、休会 59名、
復会 8名、退会 31名
2. 各種文書収受、公文書等発送管理
関係機関、団体等からの文書の収受、保管および理事・部長・委員長への転送、連絡
公文書の作成、発送、管理、事務文書の作成、ニュース、会報等会員向刊行物の発送管理
3. 総会、理事会の開催事務
4. 経理事務
現金出納、入出金管理、帳簿・各種伝票等諸帳票の管理
5. 会員管理、ホームページ管理・更新の一部、会員からの問い合わせ対応など

総務部

部長 角掛 洋行 (横須賀市立市民病院)
部員 増井 陽子 (横須賀市立市民病院)
岸 昌親 (横須賀市立市民病院)
菊地 俊臣 (横須賀市立市民病院)

1. 新人オリエンテーションの運営
2. 第24回・25回総会の運営

総務部書記係

係長 齊藤 和男 (新戸塚病院)
係員 田中 さえ子 (けいゆう病院)

1. 常任理事会の議事録作成
2. 理事会の議事録作成
3. 総会の議事録作成

総務部新人オリエンテーション係

係長 木下 尚久 (介護老人保健施設つくしの里)
係員 江原 央晃 (介護老人保健施設ナーシングプラザ港北)
黒崎 恵美 (ソレイユ川崎)

1. 平成20年度新人オリエンテーションの開催
日時: 6月15日(日) 10:00~17:30
場所: 神奈川県立保健福祉大学 1階講堂
内容: 午前の部 (10:00~12:00) 新人オリエンテーション
午後の部 (13:00~17:30) 新人教育プログラム研修会

参加者：260名（男150名 女110名）

ニュース編集部

部長 坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
部員 田中 一秀（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
水野 智明（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
赤岡 麻里（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
石川 秀太（湘南東部総合病院）

1. 定期的にニュース編集会議を行った。
2. 印刷業者の選定、構成内容の検討を行った。
3. 年間特集予定を立案した。
4. ニュースの発行を行った。（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

ウェブサイト管理部

部長 林 克郎（横浜リハビリテーション専門学校）
部員 山口 泰成（森の里病院）
宮本 謙司（青葉さわい病院）
中野 靖士（森の里病院）
松岡 明子（事務局）

ウェブサイト管理部では、各部署の協力により9月にリニューアルしたホームページを公開し、その後、利便性向上に向け修正を重ねた。

1. ホームページの運用実績（リニューアル公開：2009/3/31）
 - （1）リニューアル後のアクセスページ数：約166,600件（約80件/日）
 - （2）情報掲載数：40件
 - （3）情報掲載依頼数（ホームページから）：13件
 - （4）講習会事前申込利用数：12件
 - （5）問い合わせ件数：47件
2. メールマガジンの運用実績（5/21～3/31）
 - （1）発行数：20回（144号～163号）
 - （2）登録者数：316名

社会局

常任理事 炭 孝昭 (太田総合病院)
理事 惣田 洋 (横浜南共済病院)
理事 中村 さち子 (平塚市民病院)
理事 露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)

中途障害支援部

部長 曾根 理 (鶴巻温泉病院)
副部長 松本 肇 (鶴巻温泉病院)
書記 中川 直子 (鶴巻温泉病院)
部員 赤木 昭博 (東海大学病院)
芹田 透 (くらた病院)
前田 大助 (間中病院)

1. 会員職場の実態調査事業を行った。

(1) 事業の目的

- ①社会局会議・理事会にて各施設の動向把握し、理学療法士の啓発、研究、研修を推進する基礎資料となる。
- ②理学療法士(本会会員)が働く職場を士会ホームページに公開する事により、県民が理学療法を受ける機会を向上し、そして理学療法士の活躍の機会を増やす。
- ③各施設における研究研修の動向を把握し、研究研修を推進する一助となる。

(2) 対象と方法

- ①対象は、本会会員名簿(平成20年2月作成)に掲載されている、会員が勤務する全職場(487施設)。
- ②方法は、アンケートを郵送し返信があった215施設(回収率44%)。

(3) 結果

別途、資料を参照。

2. 部会の開催：全8回

5/19、6/16： アンケート内容の策定・部内決定
12/1、12/3、12/10、12/17、12/22： データ入力作業
12/26： まとめ報告・決定

発達障害支援部

部長 平井 孝明 (神奈川県立こども医療センター)
部員 今井 真紀 (神奈川県立総合療育相談センター)
川崎 美奈 (横須賀市療育相談センター)
斉藤 英博 (横浜市南部地域療育センター)
佐藤 隆一 (小田原市立病院)
高井 藍 (川崎市中部地域療育センター)
部員 福原 一郎 (横浜療育医療センター)
本吉 美和 (神奈川県立こども医療センター)

1. 理学療法フェスタにおける公開シンポジウムの開催

- (1) 日時：8月3日(日) 13:00~16:00
- (2) 場所：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
- (3) 対象：一般県民(参加費無料)
- (4) テーマ：「地域での暮らしを支えようー障害のあるこどもの家庭への訪問PT」
- (5) 講師：下山 郁子氏(横浜重心グループ連絡会ぱざぼネット)
水谷 晶氏(あったか訪問看護ステーション)
高梨 としえ氏(結訪問看護ステーション)
木村 充広氏(横須賀共済病院)
本澤 由美子氏(相模原市立陽光園)
高井 藍氏(川崎市中部地域療育センター)
- (6) 座長：瀧澤久美子氏(横浜市社会福祉協議会障害者支援センター)
- (7) 参加人数：105名

2. 地域作業所・グループホーム職員研修

目的：障害を持つ人への介助法と健康管理について理解を深める。

- 今年度は先方の都合により依頼が無く未実施。
3. 横浜市地域支援事業（理学療法士巡回相談）
地域作業所に対し巡回健康相談を行い、利用者等の健康の増進を図る。
実施回数：104回
 4. 理学療法月間、公開シンポジウム記録集のまとめ
平成20年度の公開シンポジウム記録を要約し、「理学療法—技術と研究」第37号に掲載した。
 5. 小児理学療法ガイドブック（第3版）の更新
神奈川県における小児理学療法実施施設名称、連絡方法、内容等をホームページ上に掲載した。
 6. 県域作業所支援事業
県域知的障害者施設からのニーズに対し具体的な対応策を検討し、利用者・介助者の健康増進を図った。

医療保険部

部長 廣瀬 仁（太田総合病院）
委員 富永 潮也（太田総合病院）
委員 吉澤 隆治（総合川崎臨港病院）

1. 主な事業内容

- (1) 診療報酬に関する情報収集と調査について
診療報酬に関する問い合わせ件数は今年度11件であった。
そのうち10件は県士会医療保険部として回答した。
残りの1件は日本理学療法士協会医療保険部に問い合わせ、対処した。
- (2) 会員への診療報酬に関する情報提供について
日本理学療法士協会ホームページに新たな情報が掲載された時点で本会ホームページに新規情報への案内を掲載した。
- (3) 医療保険対象施設に関する調査について
日本理学療法士協会医療保険部よりアンケート調査の依頼があった。
関係施設に調査を依頼し、回答した。
- (4) その他
 - ① 神奈川県医療専門職連合会開催パネルディスカッションにおいて、「平成20年度診療報酬改定の取り組み」をテーマにシンポジストとして参加した。
日時：6月10日（火）18：30～20：30
場所：かながわ県民サポートセンター 301号室
 - ② 第16回PT/OT合同地域ケアネットワーク研究会において、「リハビリテーションにおける医療保険制度」をテーマに講義をおこなった。
日時：2月15日（日）10：00～16：00
場所：横浜リハビリテーション専門学校

2. 部会の開催

5回開催した。

介護保険部

部長 相川 浩一（介護老人保健施設アゼリア）
部員 大島 奈緒美（湘南シルバーガーデン）
久保木 あずみ（リマイン地域ケアサービス）
湯田 修（足柄リハビリテーションサービス）
前田 玲（介護老人保健施設さつきの里あつぎ）
浜咲 高（海老名メディカルサポートセンター）

1. 理学療法月間公開講座「介護予防キャラバン」
テーマ サクセスフルエイジング—健やかに老いる
講師 柴 喜崇氏（北里大学医療衛生学部）
日時 7月13日（日） 14：00～15：30
場所 ウィリング横浜
対象 神奈川県民
参加数 28名
2. 平成20年度関連職種研修会
テーマ 呼吸介助の理論と実際
講師 内田 賢一氏（神奈川県立保健福祉大学）
日時 9月21日（日） 10：00～15：00

場 所 ウィリング横浜
対 象 訪問看護に従事する保健師、看護師、准看護師
参加数 33名

3. 第16回PT/OT地域ケアネットワーク合同研究会
主 催 社団法人神奈川県理学療法士会・神奈川県作業療法士会
テーマ 脳卒中発症後のリハビリテーション連携の実際
講演「リハビリテーションにおける医療保険制度」
講師 廣瀬 仁氏 (太田総合病院)
講演「介護保険制度」
講師 渡邊 慎一氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
シンポジウム「脳卒中発症後のリハビリテーション連携の実際」
シンポジスト 斎藤 幸広氏 (藤沢市民病院)
勝又 博幸氏 (介護老人保健施設のどか)
湯田 修氏 (足柄リハビリテーションサービス)
木村 達氏 (鶴巻温泉病院)
前田 玲氏 (介護老人保健施設さつきの里あつぎ)
- 日 時 2月15日(日) 10:00~16:00
場 所 横浜リハビリテーション専門学校
対 象 理学療法士・作業療法士
参加数 85名 (PT41名・OT44名)

4. 部会の開催
計7回開催 (内2回は神奈川県作業療法士会との合同会議)
内容 事業の打ち合わせ、次年度計画立案等

環境支援部

部長 長澤 充城子 (川崎市れいんぼう川崎)
会計 数野 理恵 (川崎市れいんぼう川崎)
書記 池谷 充弘 (川崎市北部リハビリテーションセンター)
部員 長尾 亜紀 (自宅)
齋藤 崇志 (訪問看護リハビリテーションネットワーク)

1. 研修会企画のため、部会を5回開催した。
2. 2回の講習会を企画し運営・開催した。
- (1) 研修会
日時 8月9日(土) 14:00~16:30
テーマ 「住宅改修に関する知識を深めよう」
講師 浅井 悦男氏 (1級建築士)
助手 榎本 大祐氏
会場 ウィリング横浜 9階 (901号室)
参加者 52名
- (2) 第2回福祉用具スキルアップ研修
主催 社団法人神奈川県理学療法士会・神奈川県作業療法士会
- ①10月12日(土) 9:30~17:00
内容 ポジショニング (良肢位・臥位・体圧分散)・起居動作
講師 隆島 研吾氏 (県立保健福祉大学)
平田 学氏 (神奈川リハビリテーション病院)
露木 昭彰氏 (足柄リハビリテーションサービス)
- ②10月19日(土) 9:30~17:00
内容 座位(シーティング)・車いす移動
講師 高田 靖子氏 (川崎市北部リハビリテーションセンター)
沼田 一恵氏 (横浜らいず)
佐藤 史子氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
- ③10月26日(土) 9:30~16:10
内容 環境整備・各種制度
講師 藤井 智氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
渡邊 慎一氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
大竹 雅子氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
会場 ウィリング横浜 介護実習室

対象 神奈川県理学療法士会会員 神奈川県作業療法士会会員
参加者 40名 (PT18名・OT22名) 修了者数 PT17名

スポーツ支援・健康増進部

部長 渡邊 裕之 (北里大学医療衛生学部)
部員 久保 雅昭 (横浜総合病院)
鈴木 仁人 (横浜市スポーツ医科学センター)
石井 斉 (日本鋼管病院)

1. 神奈川県体育協会と本会との関係について部内で協議し、協力関係を継続することとした。
2. 第90回全国高校野球選手権神奈川大会抽選会場にて傷害予防の講演を実施。
3. メディカルサポート用にマニュアルを作成。
4. 第90回全国高等学校野球選手権神奈川大会においてメディカルサポートを実施した。準決勝以上6試合に対し、理学療法士のべ40名を派遣した。予備日(待機)を含めるとのべ64名がメディカルサポートに参加した。
5. メディカルサポート用のストレッチングマニュアルを協会ホームページに公開した。
6. メディカルサポートの支援および技術的な向上を図るため、勉強会を3回実施した。
 - (1) 第1回勉強会 (投球障害について)
 - (2) 第2回勉強会 (メディカルサポート実務研修)
 - (3) 第3回勉強会 (市川繁之氏による講演)

公益事業推進部

部長 相馬 光一 (神奈川リハビリテーション病院)
部員 山村 孝司 (横須賀共済病院)
山口 和久 (横浜栄共済病院)
家高 伸行 (横須賀北部共済病院)
中川 淳一郎 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
遠藤 朋恵 (神奈川リハビリテーション病院)
前田 瞳 (神奈川リハビリテーション病院)

理学療法普及啓発キャンペーン「理学療法フェスタ」、健康生活展出展、神奈川県理学療法士学会の3つの事業で、県民に対し理学療法の普及・啓発を行なった。理学療法フェスタで普及・啓発のためポスター、ちらしを作製し、県内関連施設への告知(病院、施設、学校など)を行なった。当日、PRのためにPT協会作製のパンフレット「PTあ!」、ティッシュペーパーと本会作製のリーフレット、本会名入りクリアファイル、修正テープを来場者に配布した。PRのために必要な配布物(リーフレット、本会名入りのクリアファイルと修正テープ)を作製した。

1. 理学療法フェスタ
 - (1) ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2008ブース展示 (主催:横浜市リハビリテーション事業団)
日時 6月26日(木) - 28日(土)
会場 パシフィコ横浜
来場者数 477名
 - (2) 公開講座
日時 7月13日(日) 14:00-15:30
会場 ウィリング横浜
講演 介護予防キャラバン「老化-身体運動機能の加齢変化について」
講師 柴 喜崇氏 (北里大学医療衛生学部)
企画運営は介護保険部が担当 (詳細は介護保険部の項を参照)
 - (3) 公開セミナー
日時 7月21日(月) 13:00-16:00
会場 かながわ県民センター (2階ホール)
講演 「アンチエイジング・エクササイズ」
講師 石井 慎一郎氏 (神奈川県立保健福祉大学)
来場者数 27名
 - (4) 公開シンポジウム
日時 8月3日(日) 13:00-16:00
会場 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール (ラポールシアター)

シンポジウム「地域での暮らしを支えようー障害のあるこどもの家庭への訪問PTー
現状と充実を目指して」

座長 瀧澤 久美子氏 (横浜市社会福祉協議会障害者支援センター地域コーディネーター)

シンポジスト 下山 郁子氏 (横浜重心グループ連絡会ぱざぼネット 代表)

水谷 晶氏 (あったか訪問看護ステーション 理学療法士)

高梨 としえ氏 (結訪問看護ステーション 理学療法士)

木村 充広氏 (横須賀共済病院 理学療法士)

高井 藍氏 (川崎市中部地域療育センター 理学療法士)

本澤 由美子氏 (相模原市立陽光園 理学療法士)

企画運営は発達障害支援部が担当 (詳細は発達障害支援部の項を参照)

(5) ハイスクールフォーラム

日時 8月16日(土) 13:00-16:00

会場 かながわ県民センター (2階ホール)

①講演 「スポーツ障害とその対処法」

講師 鳥居 直美氏 (東芝林間病院)

②実技 「最初が肝心!! スポーツ障害の処置」

講師 原田 長氏 (東芝林間病院)

来場者数 42名

(6) 理学療法見学会 (県内施設での理学療法業務の見学)

日時・会場: 8月19日 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

8月20日 地域リハセンターふらっと

8月25日 平塚市民病院

8月25日 日本鋼管病院

8月27日 クローバーホスピタル

内容: ビデオ上映 (理学療法業務の紹介: 日本理学療法士協会編)

理学療法業務見学・質疑応答

見学者 45名

(7) 理学療法相談会

日時 6月1日(日) ~8月31日(日)

会場 理学療法月間事業各会場

2. 健康生活展 (すこやかかながわ万人健康ウォーク併催、主催: かながわ健康財団)

日時: 11月8日(土)

会場: 赤レンガパーク

内容: 健康生活展ブース展示 (健康相談、運動指導、パネル展示など)

来場者: 230名

3. 第26回神奈川県理学療法士学会

日時: 3月7日(土)

会場: 茅ヶ崎市民文化会館

内容: 一般相談窓口の開設、リーフレットなどの配布

相談者数: 0名

会員ライフサポート部

部長 萩原 文子 (川崎社会保険病院)

部員 大槻 かおる (大和市立病院)

部員 佐藤 幸子 (帝京大学医学部附属溝口病院)

部員 寺尾 詩子 (聖マリアンナ医科大学病院)

部員 大島 奈緒美 (湘南シルバーガーデン)

部員 井上 早苗 (川崎市れいんぼう川崎)

部員 堀 七湖 (帝京大学医学部附属溝口病院)

部員 大塚 敬三 (平塚市民病院)

1. 研修会開催

日時 3月7日(土) 15:50~17:00

会場 茅ヶ崎市民文化会館

テーマ やり抜く力 ~明日から変わる第一歩~

講師 福島 努氏 (平塚市民病院)

2. 講習会 (新人教育プログラムI-1)

日時 6月15日(日)

会場 神奈川県立保健福祉大学

- テーマ 女性の雇用環境について
講師 中村 さち子氏 (平塚市民病院)
3. 第27回関東甲信越ブロック理学療法士学会にて発表
日時 8月31日(日)
会場 幕張メッセ
演題名 「男性理学療法士及び作業療法士の育児休業取得から見えるもの」
演者 萩原 文子氏 (川崎社会保険病院)
4. 県士会ニュースでの活動報告
テーマ 職場環境を考える 第9報～第14報

学 術 局

常任理事 畠中 泰司 (横浜市立大学附属病院)
理事 松永 篤彦 (北里大学医療衛生学部)
理事 菅原 憲一 (神奈川県立保健福祉大学)
理事 湯田 健二 (海老名総合病院)

学術局

1. 学術サークル助成事業：10サークルへ助成
2. 第27回神奈川県病院学会への協力
学術委員会および学会運営委員の派遣

学術講習部

部長 太附 広明 (相模原協同病院)
副部長 田治 秀彦 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
会計 寺尾 詩子 (聖マリアンナ医科大学病院)
書記 小山 理恵子 (聖テレジア病院)
磯貝 仁美 (神奈川リハビリテーション病院)
部員 川上 恵治 (湘南泉病院)
石間伏 彩 (横浜市脳血管医療センター)
今富 真紀 (横浜市脳血管医療センター)
藤井 杏美 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)
萩原 聡 (横浜市東部療育センター)
藤橋 紀行 (北里大学東病院)
堅田 紘頌 (川崎市立多摩病院)
山本 裕子 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
長田 深希 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
土屋 辰夫 (神奈川リハビリテーション病院)

1. 講習会およびリーダー研修会企画のため部会を年7回開催した。
2. 4回の講習会、リーダー研修会を企画し運営・開催した。

(1) 第1回講習会

日時 7月27日(日)
テーマ 片麻痺者の歩行訓練の中で装具をいかに効果的に使うか
講師 溝部 朋文氏 (横浜市脳血管医療センター PT)
会場 横浜市立大学附属病院 講堂へボンホール
参加者 180名

(2) 第2回講習会

日時 10月26日(日)
テーマ 呼吸理学療法の実際
講師 丸谷 守保氏 (神奈川リハビリテーション病院 PT) ほかPT5名
会場 神奈川リハビリテーション病院
参加者 75名

(3) 第3回講習会

日時 11月16日(日)
テーマ 頸椎、腰椎の手術の実際 ～診断及び手術手技を中心に～
講師 落合 淳一氏 (昭和大学藤が丘病院 整形外科医師)
会場 昭和大学藤が丘病院C棟講堂
参加者 101名

(4) 第4回講習会

日時 2月8日(日)
テーマ 最近の脳性麻痺痙縮治療と理学療法
講師 安達 みちる氏 (東京女子医科大学 PT)
岩島 千鶴子氏 (神奈川県立こども医療センター PT)
会場 ウィリング横浜 体育室
参加者 77名

(5) リーダー研修会

日時 3月15日(日)

テーマ 院内スタッフの連携から地域医療の連携まで
講師 伊藤 利之氏（横浜市総合リハビリテーションセンター顧問 医師）
会場 横浜市総合リハビリテーションセンター
参加者 37名

生涯学習部

部長 川村 博文（神奈川県立保健福祉大学）
副部長 上杉 上（横浜市立大学附属病院）
部員 金井 章（浦賀病院）
小西 聡宏（横浜市立大学附属病院）
駒場 佳世子（横浜市立脳血管医療センター）
櫻井 好美（神奈川県立保健福祉大学）
佐藤 晴美（横須賀北部共済病院）
島津 尚子（横浜市立大学附属病院）
下山 あゆみ（済生会横浜市南部病院）
高木 峰子（神奈川県立保健福祉大学）
堤 美恵（横浜市立脳血管医療センター）
中村 大輔（横浜市立大学附属病院）
藤浦 達（横浜市立大学附属市民総合医療センター）
向山 ゆう子（横浜市立大学附属病院）
守下 美和（横浜市立脳血管医療センター）

1. 事業内容

(1) 新人教育プログラム研修会

①1年次新人教育プログラム研修会

日時：6月15日（日）

会場：神奈川県立保健福祉大学講堂

テーマ・講師：

「1-1. 協会組織と機構」神奈川県理学療法士会会長 神内 擴行氏（横浜リハビリテーション専門学校）

「1-1. 女性の雇用環境について」同理事 中村 さち子氏（平塚市民病院）

「1-2. 職業倫理」同副会長 隆島 研吾氏（神奈川県立保健福祉大学）

「1-2. 管理運営」同副会長 秋田 裕氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）

「1-4. 理学療法士・作業療法士法および関連法規（介護保険法等）」同事務局長 山口 泰成氏（森の里病院）

1-1は「協会組織と機構」と「女性の雇用環境について」をあわせて1単位。

1-2は「職業倫理」と「管理運営」をあわせて1単位。

参加者： 1-1. 285名

1-2. 282名

1-4. 283名

②2年次新人教育プログラム研修会

日時：9月7日（日）

会場：横浜市立大学ヘボンホール

テーマ・講師：

「2-1. 理学療法の研究手法論」菅原 憲一氏（神奈川県立保健福祉大学）

参加者：153名

「2-2. 人間関係」斎藤 幸広氏（藤沢市民病院）

参加者：185名

「2-3. 生活環境支援」松葉 貴司氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）

参加者：179名

「2-4. 社会の中の理学療法」鶴見 隆正氏（神奈川県立保健福祉大学）

参加者：181名

「2-6. 症例検討Ⅱ」澤田 明彦氏（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

参加者：150名

③1・3年次新人教育プログラム研修会

日時：12月7日（日）

会場：神奈川県立保健福祉大学講堂

テーマ・講師：

- 「3-1.理学療法士と保険制度」炭 孝昭氏（太田総合病院）
参加者：130名
- 「3-3.世界の理学療法」清水ミシェル・アイズマン氏（県立広島大学）
参加者：111名
- 「1-3.地域リハビリテーション」長澤 充城子氏（川崎市れいんぼう川崎）
参加者：186名
- 「1-6.症例検討Ⅰ」永井 聡氏（広瀬整形外科リウマチ科）
参加者：187名

- ④第2回 神奈川県理学療法士会症例検討発表会（症例検討Ⅲ認定対策学術発表会）
会場：横浜市立大学へボンホール 2F 第1・2講義室
日時：1月25日（日）
発表演題：18演題
参加者：77名（症例検討発表者18名含む）

(2) 部会開催と関係会議の出席

- ①部会開催：5回
- ②関東甲信越ブロック新人教育担当者会議
会場：日本工学院専門学校会議室
日時：9月20日（土）
出席者：川村 博文、上杉 上

生涯学習部データ管理係

係長 田中 健康（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
副係長 澤田 明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
係員 熊木 由美子（横浜市立脳血管医療センター）
島津 尚子（横浜市立大学附属病院）

1. 新人教育プログラムへの枠入れ
2. 新人教育プログラム修了書の発行及び発送管理
日本理学療法士会への修了書発行者名簿の報告
3. 県士会員新人教育プログラム・データの登録及び入力
名簿入力による受講状況把握
生涯学習部主催研修会、講習部主催講習会、関東甲信越ブロックPT学会、神奈川県PT学会ほか

資料① 2008年度（平成20年度）入会年度別研修、講習出席状況

日付	研修名	テーマ	入会年度												総受講人数
			S61~H09	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	
2008.06.15	新人教育プログラムⅠA	①協会組織・機構、県士会組織②女性の就労環境	10	0	0	0	0	0	0	1	1	2	11	260	285
2008.06.15	新人教育プログラムⅠB	職業倫理、管理運営	10	0	0	0	0	0	0	1	1	2	10	258	282
2008.06.15	新人教育プログラムⅠC	理学療法と関連法規（介護保険含む）	10	0	0	0	0	0	0	1	1	3	10	258	283
2008.07.27	第1回講習会	片麻痺者の歩行訓練の中で装具をいかに効果的に使う	7	0	0	2	2	5	9	18	24	62	32	163	
2008.08.09	環境支援部第1回研修会	PTIに必要な住宅改修に関する基礎知識	1	0	1	2	1	0	1	5	1	7	15	18	52
2008.08.30	第27回関東甲信越PT学会A	新人教育プログラムⅠ「高次脳機能障害の最新知識」	4	0	1	0	0	1	0	1	1	17	28	13	66
2008.08.30	第27回関東甲信越PT学会B	新人教育プログラムⅡ「脳機能に基づく機能評価とアプ	4	0	1	0	0	1	1	2	5	19	28	14	75
2008.08.30	第10回アジアPT学会（第27回	アジアのPTの世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
2008.08.31	第27回関東甲信越PT学会C	教育講演Ⅰ「疼痛に対する自己コントロール法」	1	0	0	1	1	2	1	0	6	24	21	9	66
2008.08.31	第27回関東甲信越PT学会D	教育講演Ⅱ「胸部の画像診断～PTの基礎」、「急性期の	3	0	1	1	2	1	1	1	6	18	25	9	68
2008.08.31	第27回関東甲信越PT学会E	教育講演Ⅲ「廃用症候群の病態生理と理学療法」	3	0	0	1	1	0	1	2	5	15	16	6	50
2008.08.31	第10回アジアPT学会（第27回	アジアのPT活動	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	4
2008.08.31	第10回アジアPT学会（第27回	ACPT学会講演	0	0	0	0	0	0	0	1	1	17	5	3	27
2008.09.07	2年次新人教育プログラム研修	理学療法の研究方法論	3	0	1	0	3	1	0	3	6	16	120	0	153
2008.09.07	2年次新人教育プログラム研修	人間関係	4	0	1	1	3	1	0	3	9	19	144	0	185
2008.09.07	2年次新人教育プログラム研修	生活環境支援(含む福祉車運用)	4	0	1	2	0	3	0	3	8	19	139	0	179
2008.09.07	2年次新人教育プログラム研修	社会の中の理学療法	4	0	1	2	1	2	0	3	6	19	143	0	181
2008.09.07	2年次新人教育プログラム研修	症例検討Ⅱ	3	0	1	1	0	2	0	3	4	17	119	0	150
2008.10.26	第2回講習会	呼吸理学療法の実践 -実技を中心に-	2	0	0	0	2	1	1	3	5	11	24	14	63
2008.11.16	第3回講習会	頸椎、腰椎の手術の実践 -診断及び手術手技を中心	4	0	0	4	3	5	8	6	8	14	27	27	106
2008.12.07	1年次新人教育プログラム研修会ⅡA	地域におけるリハビリテーション	2	0	0	1	0	1	1	0	1	6	9	165	186
2008.12.07	1年次新人教育プログラム研修会ⅡB	症例検討Ⅰ	2	0	0	1	0	1	1	0	1	5	7	169	187
2008.12.07	3年次新人教育プログラム研修	理学療法士と保険制度	3	0	0	3	2	2	6	9	14	90	1	0	130
2008.12.07	3年次新人教育プログラム研修	世界の理学療法	2	0	0	3	2	1	5	7	12	78	1	0	111
2009.02.08	第4回講習会	最近の脳性麻痺治療と理学療法	21	4	0	2	3	2	1	3	1	5	9	7	58
2009.02.15	平成20年度臨床実習教育部	臨床実習指導を通して学んだこと	8	1	0	6	3	6	6	4	7	23	0	0	64
2009.02.15	第16回神奈川県PT・OT地域	もう一度知りたい 医療保険と介護保険制度	1	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3	4	14
2009.03.07	第26回神奈川県理学療法士	シンポジウム「楽しく学んでいますか」,会員ライフポー	3	0	0	1	1	2	2	7	6	25	11	12	70
2009.03.07	第26回神奈川県理学療法士	公開講座「地頭力を鍛える」～いまもとめられる思考力と	3	0	1	4	3	5	4	9	10	37	23	20	119
2009.03.15	リーダー研修会(2008)		7	2	0	1	2	4	2	0	8	3	0	2	31
	症例検討発表		4	0	0	0	0	2	9	5	10	20	19	6	75
	現職者講習会(2008)	2008年度現職者講習会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	5
	他県士会研修会等(2008)		0	0	0	0	0	2	0	0	2	6	1	3	14
	衛星放送)協会組織と機構		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			134	7	10	39	36	50	56	93	186	571	1032	1311	3505

資料② 新人教育プログラム対象者および履修状況・修了書発行状況

神奈川県 士会員数	対象者数(S61以降入会)		入会年度	人数	修了書発 行者	H20年度 登録者
	経験年数3年 未満	経験年数3年 以上				
	2590		S61~S63	102	64	0
			H1~H5	189	107	0
2751	589	2001	H6	43	13	0
			H7	52	17	1
			H8	48	16	0
			H9	85	30	1
			H10	77	28	0
			H11	118	43	3
			H12	135	38	5
			H13	141	43	2
			H14	180	42	10
			H15	168	18	7
			H16	192	12	4
			H17	208	18	10
			H18	263	7	7
			計	2001	496	50

(平成21年3月末現在)

新人教育プログラム修了認定率 24.8% (神奈川県理学療法士会) (H21.3現在)
54.6% (日本理学療法士協会会員全体) (H.20.3現在)

学術誌編集部

部長 山崎 哲司 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
部員 清水 美紀 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
斎藤 均 (横浜市立脳血管医療センター)
柳田 憲光 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
福澤 賢 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
奥山 亜耶子 (横浜旭中央総合病院)

1. 会報、学会抄録集との合併号の企画・発行
『神奈川県理学療法士会・会報「技術と研究」第37号』
2. 第24回神奈川県理学療法士学会準備委員長と学会抄録集について連絡・調整
3. 企画・編集会議の開催
 - 第1回会議：年間予定の計画・確認、企画案の検討
 - 第2回会議：企画案・テーマの決定、執筆者の検討
 - 第3回会議：執筆者の決定、執筆依頼文の作成・発送
 - 第4回会議：原稿の校正作業、発送までの作業工程確認
 - 第5回会議：原稿のチェックと修正、レイアウトの確認
 - 第6回会議：第一稿校正依頼の発送作業
 - 第7回会議：第一稿のチェックと修正、レイアウトの確認
印刷所とレイアウトの打ち合わせ、見積りの依頼
 - 第8回会議：第二稿のチェックと修正、レイアウトの確認。発送作業の確認
 - 第9回会議：礼状、謝礼、製本、別刷りの作成と発送、反省会

学術誌編集部査読委員会

委員長 萩原章由 (横浜市立脳血管医療センター)
委員 内田賢一 (神奈川県立保健福祉大学)
脇口恭生 (神奈川県立こども医療センター)
木村充広 (横須賀共済病院)

1. 査読マニュアル作成
2. 『神奈川県理学療法士会 会報「技術と研究」』の4編の投稿原稿の査読審査

臨床実習教育部

部長 坂本 美喜（北里大学医療衛生学部）
部員 隆島 研吾（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部）
澤田 明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
米沢 昌宏（鶴巻温泉病院）
熊木 由美子（横浜市立脳血管医療センター）

1. 臨床実習教育ワークショップ

日時：9月21日（日）13:00～16:00

場所：鶴巻温泉病院

内容：「臨床実習教育における現状・問題点」

司会：長澤 弘氏（神奈川県立保健福祉大学）

松葉 好子氏（横浜市立脳血管医療センター）

パネリスト：関屋 昇氏（昭和大学保健医療学部）

林 克郎氏（横浜リハビリテーション専門学校）

鍋島 香峰子氏（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

大木 雄一氏（鶴巻温泉病院）

参加人数：47名

2. 臨床実習に関する講習会の開催

神奈川県委託事業として、臨床実習指導者研修会を開催した。

日程：2月15日（日）13時～15時

場所：神奈川県立保健福祉大学

内容：「臨床実習をとおして学んだこと」

講師 縄井 清志氏（つくば国際大学）

熊木 由美子氏（横浜市立脳血管医療センター）

参加人数：68名

学術大会部

部長 湯田 健二（海老名総合病院）

1. 第27回神奈川県理学療法士学会予算について検討

準備委員10名、当日の運営委員30名と想定し、検討した結果、会議費に10万円計上することとした。

2. 学会のホームページ作成に関して

平成21年度以降、学術大会部にて、本会のCGI利用など業務の効率化を図るよう検討。

3. 第27回神奈川県理学療法士学会学会長の選任

学会開催地として鎌倉地区に依頼し、黒水 俊吾氏（大船中央病院）を学会長に推薦した。

局に属さない部・委員会

規約審議委員会

委員長 植松 豊子 (川崎市立井田病院)
委員 宿田 友子 (川崎市立病院)

1. 組織改正に伴う分掌規程および内規の見直し
2. その他、規約に関すること

表彰審査委員会

委員長 磯部貴光 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)

1. 神奈川県公衆衛生協会長表彰推薦
2. 日本理学療法士協会賞受賞者候補者推薦

IT化推進委員会

委員長 澤田 明彦 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)
委員 佐藤 満 (昭和大学保健医療学部)
矢野 実穂 (横浜市立脳血管医療センター)
山村 孝司 (横須賀共済病院)
田中 健康 (七沢リハビリテーション病院脳血管センター)

1. インフラ関連の整備
セキュリティ保持：SSL 認証サービスの継続契約によりサーバのセキュリティを維持した。
2. ウェブページ (<http://www.pt-kanagawa.or.jp>) 管理の引き継ぎ
ウェブページ管理・運営に関してウェブサイト管理部への引き継ぎを行った。
3. メール問い合わせへの対応
ウェブサイト管理部への引き継ぎまでの期間メールフォームを管理し、ウェブページ経由でのメール問い合わせに対応した (2008/04/01～2008/04/30)。

2008/04/01～2008/04/30				
問い合わせ先\問い合わせ元	会員	他会員	非会員	計
ウェブ管理者	1			1
士会事務局	3	1	2	6
新人教育プログラム(データ管理係)				
新人教育プログラム(研修会)				
第25回神奈川県理学療法士学会				
診療報酬に関するご質問	4			4
第1回講習会				
理学療法月間				
高齢者福祉部				
計	8	1	2	11

会員：神奈川県士会会員 他会員：他都道府県士会会員

4. 学術誌等印刷発行物電子化に関する検討
学術誌等印刷発行物電子化に関して検討を行った。

組織検討委員会

委員長 萩原 利昌 (川崎市百合丘障害者センター)
委員 秋田 裕 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
委員 隆島 研吾 (神奈川県立保健福祉大学)
委員 斎藤 幸広 (藤沢市民病院)

1. 関係者からの意見聴取
日時 3月7日(土) 10時30分～
場所 茅ヶ崎市民文化会館
参加者 各委員のほかに歴代県学会長および地域学術サークル代表者
主議題 県内ブロック化に向けた意見交換、その他会員の声を本会運営に反映させる方法について
2. 中間報告書の作成及び理事会報告

選挙管理委員会

委員長 山田 彰 (伊勢原協同病院)
委員 大橋 恭彦 (伊勢原協同病院)
上田 美枝 (東海大学医学部附属病院)

1. 社団法人日本理学療法士協会定款第 12 条の(2)ならびに同協会定款細則Ⅳの 1 項の規定により代議員選挙を実施し、本会理事会推薦による 4 名が承認され当選した。

第 26 回神奈川県理学療法士学会

学会長	坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
準備委員長	杉浦 雅美 (茅ヶ崎新北陵病院)
相談役	斎藤 幸広 (藤沢市民病院)
	湯田 健二 (海老名総合病院)
総務部	眞保 実 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
運営部	田中 一秀 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
財務部	加藤 幸弘 (寒川病院)
演題審査部	安藤 岳彦 (クローバーホスピタル)
学術編集部	斎川 大介 (藤沢湘南台病院)
会場運営委員	荻野 直子 (神奈川県立総合療育相談センター)
	伊藤 智美 (新横浜リハビリテーション病院)
	久住 紋子 (西横浜国際総合病院)
	武田 正一 (茅ヶ崎徳州会総合病院)
	清水 悦子 (茅ヶ崎徳州会総合病院)
会場運営委員	伊藤 雅泰 (ふれあい東戸塚ホスピタル)
	吉永 聡美 (ふれあい東戸塚ホスピタル)
	真鍋 由香 (大和市立病院)
	野田 玄 (湘南鎌倉病院)
	小林 達志 (ふれあい平塚ホスピタル)
	具伊 愛 (茅ヶ崎市立病院)
	古郡 裕美 (藤沢御所見病院)
	坂井 翔太 (藤沢御所見病院)
	高関 じゅん (藤沢市民病院)
	澁谷 利秋 (藤沢湘南台病院)
	徳田 有美 (藤沢湘南台病院)
	上藪 真知子 (藤沢湘南台病院)
	中村 絵美 (藤沢湘南台病院)
	佐々木 友恵 (新戸塚病院)
	天満 晃 (平塚共済病院)
	樋口 豊久 (平塚共済病院)
	松本 優 (ふれあい鎌倉ホスピタル)
	神尾 有希 (ふれあい鶴見ホスピタル)

(順不同)

第 26 回神奈川県理学療法士学会を下記のとおり開催した。

1. 開催日時：3月7日(土曜日) 開会 10時 閉会 18時 20分
2. 開催場所：茅ヶ崎市民文化会館
3. 学会テーマ：「学ぶ楽しみ方」
4. 参加人数：353名(会員 306名、会員外 8名、学生 26名、一般 13名)
5. 後援：神奈川県、茅ヶ崎市
6. 学会案内：神奈川県理学療法士会ニュース、学会ホームページ、
県内会員施設へのポスター配布、茅ヶ崎市広報、茅ヶ崎地域情報誌
7. 公開講座：「地頭力を鍛える～いまとめられる思考力とは」
細谷 功氏 (ザカティールコンサルティング)
8. シンポジウム：「楽しんで学んでいますか」
座長：杉浦 雅美氏 (茅ヶ崎新北陵病院)
シンポジスト：中原 康志氏 (湘南中央病院)
根本 敬氏 (湘南鎌倉総合病院)
一之瀬 巳幸氏 (ふれあい横浜ホスピタル)
9. 一般演題：43演題(口述発表 8演題、ポスター発表 35演題)
10. その他：県内学術サークルポスター展示紹介、医療関連業者展示